

# 3 今後の検討課題

以下の項目については、次回の改訂の際に再度検討することとした。エビデンスが十分ではない臨床疑問については、エビデンスとなる臨床研究が推進されることを期待する。

## 1 今回のガイドラインでは、対応しなかったこと

- ・ 18歳未満および超高齢者のがん患者のせん妄に関する内容の記載
- ・ がん患者の術後せん妄に関する内容の記載
- ・ 薬剤の具体的な使用法（投与用量・方法、漸減・中止方法など）の記載
- ・ ガイドラインの推奨を実臨床ではどのように活用できるかの理解を助ける「臨床の手引き」の作成
- ・ ダイジェスト版など、より簡便な普及のためのツール作成
- ・ 患者・家族を対象としたガイドラインの説明用ツールの作成
- ・ ガイドラインを遵守することに関するモニタリング・監査のための基準を示した方法の提案
- ・ 関係学会と協力したうえでの用語の整理

## 2 推奨について、今後の検討や新たな研究が必要なこと

### 1) せん妄の可逆性

- ・ がん患者のせん妄において、直接因子別のせん妄の可逆性の比較検討

### 2) せん妄の予防

- ・ がん患者のせん妄予防を目的とした抗精神病薬の有効性と安全性についての検討
- ・ がん患者のせん妄予防を目的とした抗精神病薬以外の薬剤（ラメルテオン、スボレキサント、抑肝散など）の有効性と安全性について検討
- ・ がん患者のせん妄予防を目的とした非薬物療法についての検討
- ・ がん患者のせん妄予防を目的とした多職種連携介入の有効性と安全性についての検討

### 3) せん妄に対する治療

#### (1) せん妄に対する薬物療法

- ・ がん患者のせん妄に対する抗精神病薬以外の薬剤（トラゾドン、抑肝散、Z-drug など）の有効性と安全性についての検討
- ・ がん患者のせん妄に対する抗精神病薬とベンゾジアゼピン系薬の併用の有効性と安全性についての検討
- ・ がん患者のせん妄に対する個々の抗精神病薬の有効性と安全性についての比較検討
- ・ がん患者の低活動型せん妄に対する薬物療法の有効性と安全性についての検討

#### (2) せん妄に対するケア

- ・ 患者自身が望むせん妄に対するケアについての検討

#### (3) せん妄に対する多職種連携介入

- ・ がん患者のせん妄に対する多職種連携介入の有効性と安全性についての検討

### 4) 家族ケア

- ・ せん妄を有するがん患者の家族に対するケアについての検討

### 5) 推奨全体

- ・ 包括的なせん妄対応プログラム開発とその有効性の検討

(松田能宣, 谷向 仁, 井上真一郎)